

平成27年度継続課題に係る継続評価書 (平成25年度以降採択課題向け)

研究機関 : パナソニックシステムネットワークス(株)

研究開発課題 : ICTを活用した次世代ITSの確立 課題Ⅲ インフラレーダーシステム技術の開発

研究開発期間 : 平成 26 ～ 30 年度

代表研究責任者 : 中川 洋一

■ 総合評価 : 適(適/条件付き適/不適の3段階評価)
(評価点 20点/25点中)

(総論)

研究開発計画に従った形でデバイス開発・基本特性の評価が行われていると考えられる。次年度以降、画像処理による検出法との比較・組み合わせなど、相互に補完できる方法・システムとの連携についても議論する等、より具体的な用途を想定し、79GHz帯レーダーの特色を生かした従来のレーダーにはなかった新しい用途への展開に向け研究開発が行われていくことを期待する。

(コメント)

- 研究開発計画に従った形でデバイス開発・基本特性の評価が行われていると考えられる。次年度以降、より具体的な用途を想定し、インフラレーダーを有効に利用するための研究開発が行われていくことを期待する。
- 79GHz帯レーダーの特色を生かした従来のレーダーにはなかった新しい用途への展開が期待される。
- 実用化に向けてコストダウンをはかっている。レーダーの利活用促進のために、高速道路会社における応用を検討している。
- 研究は始まったばかりであるが、画像処理による検出法との比較・組み合わせなど、相互に補完できる方法・システムとの連携についても議論されるとよいと思う。

(1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況及びアウトカム
目標の達成に向けた取組みの実施状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

降雨試験場における実験データの解析や、強い降雨の伝搬特性について、雨粒の粒径が79GHzの波長と同程度となる条件での実験とデータ解析が重要という運営委員会の指摘に基づき検討を進める等、研究開発計画どおりシステムの開発が行われ、基本特性の評価が行われていると判断される。実施状況については、論文や特許などの成果物についてもアピールされたほうがよいと思う。

(コメント)

- 研究開発計画どおりシステムの開発が行われ基本特性の評価が行われていると判断される。
- 降雨試験場における実験データを解析した。運営委員会から、強い降雨の伝搬特性について、雨粒の粒径が79GHzの波長と同程度となる条件での実験とデータ解析が重要という指摘があり、検討を進めた。
- 論文や特許などの成果物についてもアピールされたほうがよいと思う。

(2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

研究分担者を追加するなど、適切に予算執行されている。

(コメント)

- 適切であると考えられる。
- 研究分担者を追加するなど、適切に予算執行されている。
- とくに問題はない。

(3) 研究開発実施計画及びアウトカム目標の達成に向けた取組み

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

これまで「背景ノイズ除去」と表記していたが「背景クラッタ抑圧」に変更するなど、研究開発項目を的確に記述しており、適切であると考えられる。

(コメント)

- 適切であると考えられる。
- これまで「背景ノイズ除去」と表記していたが「背景クラッタ抑圧」に変更するなど、研究開発項目を的確に記述している。
- とくに問題はない。

(4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

平成27年度の年次目標、項目名を精査しているが、それを反映した予算計画となっており、適切であると考えられる。

(コメント)

- 適切であると考えられる。
- 平成27年度の年次目標、項目名を精査しているが、それを反映した予算計画となっている。
- とくに問題はない。

(5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

研究開発運営委員会において評価・助言を受けているほか、各種委員会活動への参加等を通じ、警察庁・総務省・自動車メーカーとの情報交換を行っており、適切であると考えられる。

(コメント)

- 適切であると考えられる。
- 研究開発運営委員会において評価・助言を受けている。
- 警察庁・総務省の各種委員会活動に参加している。
- 自動車メーカーとの情報交換を行っている。
- とくに問題はない。